

(仮称)高根多目的センターの整備に関するサウンディング型市場調査結果概要

令和3年9月30日
高山市長 國島 芳明

1. サウンディング実施の経緯

高根支所は、昭和52年建築で老朽化が著しいことから、市民活動やまちづくりの拠点となる様々な機能を持つ複合施設として整備することとし、その整備手法として民間事業者のノウハウを活用したPPP導入の可能性を検討している。

本調査は、(仮称)高根多目的センターの整備にあたり、①類似事業の事例、②適切な事業手法、③既存施設の処分及び活用などについて、民間事業者から広く意見・提案を求め、対話を通じて民間事業者の意向を把握するものである。

2. サウンディングの対象

施設名称： (仮称)高根多目的センター

機能： 支所機能、公民館機能、図書館(分館)機能、診療所機能など

整備箇所： 高山市高根町上ヶ洞地内

3. サウンディングの実施スケジュール

令和3年8月18日	サウンディング実施要領の公表
9月13日・14日	サウンディング(WE B会議方式)
9月30日	サウンディング結果概要の公表

4. サウンディングへの参加者

4社

5. サウンディング結果の概要

次項のとおり

【結果概要】

対象項目	概要
類似事業の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所上下水道局庁舎：リース方式 ・市役所新庁舎：リース方式 ・県営立体駐車場：DB方式 ・商業施設（民間施設）：DB方式 ・ホテル（民間施設）：DB方式　ほか（所在地や具体名は非公表）
適切な事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・PPPについては、DBまたはDBOならば可能性がある。 ・リースまたはBOTの活用も考えられる。 ・PFIで実施するには規模が小さすぎる。 ・維持管理については、法定点検、保守点検などが考えられる。
既存施設の処分及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ・点々とある施設を結び線につなぐ施設として、また、地域住民の生活を支える拠点として位置づけると良いのではないか。 ・地域の状況を踏まえ、数十年後を考えると、現支所を耐震補強する方が良いと考える。
参加意欲の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・条件により参加の可能性がある。 ・これまでの経験値を活かした助言が可能である。 ・今回の事業規模では参加が難しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を繋ぐ拠点としての機能を加えることが考えられる。 ・当該地域の人口規模や人流から、採算ベースによる民間事業の参入は厳しい。 ・地元企業との協業や参画、市民雇用を条件とした整備は可能である。 ・グループ企業それぞれの特色や強みを活かし、他都市でも実績を上げているような効果的な取組みが可能である。 ・今後、具体的な検討を進める上でサウンディングを行う場合は、事業の概要や想定される事業手法などの情報が欲しい。

6. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング結果を踏まえて、事業方式や公募条件の整理・検討を進めるとともに、市として具体的な整備内容、土地や施設規模（面積）等を確定し、議会等との協議を経た上で、より具体的な提案をいただけるよう2回目のサウンディングを開催し、事業手法等を決定する予定としている。